



第三定例会ご報告

昨年度の歳入歳出を審議

第三定例会が開催されました

北区議会の第三定例会が、9月4日から、10月2日まで29日間の日程で開催されました。

第三定例会では、昨年度(平成26年度)の歳出・歳入の認定を行うか、このことが主な議題となります。

決算特別委員会にて集中的に審議

昨年度の歳入・歳出の自身を審議するため、議会内に「決算特別委員会」が設けられ、私もそのメンバーとなりました。

議員は、各所属の常任委員会・特別委員会とは別に「決算特別委員会」または「予算特別委員会」いずれかの

メンバーになることになっていきます。そして今回決算特別委員会のメンバーにならなかつた議員は、「予算特別委員会」のメンバーとなり、年明けから来年度予算を審議することになります。

決算特別委員会は、会期中に7日間開催され、毎日テーマ(教育費・福祉費・土木費等)を決めて集中的に審議します。

日本共産党北区議団は、今回決算特別委員会に5名のメンバーで臨みました。毎日の区議団の持ち時間は86分(理事者Ⅱ区役所の部長の回答時間込み、時間は会派のメンバーの人数により増減)。一人あたり各日10分(25分を使って、昨年度一年間の区政運営がどのような行われたのかの質疑を行います。

持ち時間が来ると、こちらの質問中でもまた理事者の回答中でもベルを鳴らされて「強制終了」という委員会運営が行われていることなどにびびくりするなど、私にとっても初めての経験でしたが、そのようにならないために、事前に理事者の皆さんに聞き取りをおこなうなど、委員である私たちも十分に準備をして委員会に臨みました。

共産党は一般会計等は承認せず

7日間の質疑の中で明らかになったことは、国による消費税増税や社会保障後退政策が行われ、私たちの暮らしがどんどん厳しくなっていく中で、医療と介護の連携・15%プレミアム商品券の発行・

保育園待機児解消・若者就労支援事業など、住民要望にこたえた一定の成果はありますが、くらしや平和を脅かす消費税や集団的自衛権の行使を容認する姿勢は認められないこと、区政でも公共施設の15%削減への固執、事務部門の外部委託化に踏み切ったこと、マイナンバー制度の導入による負担増と情報漏えいへの懸念、特定整備路線など住民合意のないまちづくりの推進、国民健康保険・後期高齢者医療の保険料の値上げを行ったことなど、区民に対して採るべき政策が不十分であるため、一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療会計決算には反対。中小企業従業員退職等共済事業会計および介護保険会計には賛成をしました。

日本共産党国会議員による特定整備路線現地視察

9月13日に、日本共産党の田村智子参議院議員・宮本徹衆議院議員、曾根はじめ都議会議員と共に特定整備路線補助86号線建設予定地を視察しました。

補助86号線志茂地域では、建設差し止めを求めて地域住民が提訴。10月28日には東京地裁にて第一回目の公判が行われます。



防災を理由に道路幅を20mに拡幅する計画のある補助86号線志茂地区。100m南側には平行して18m幅の道路が建設済みです。



遠くに見えるのは志茂の清掃事務所の煙突。赤羽自然観察公園まではほぼ一直線に道路を通す計画となっています



特定整備路線の事業認可がなされたことを通知する看板の前で視察の感想を述べる田村智子参議院議員

オリンピック・パラリンピック議連によるNTC視察

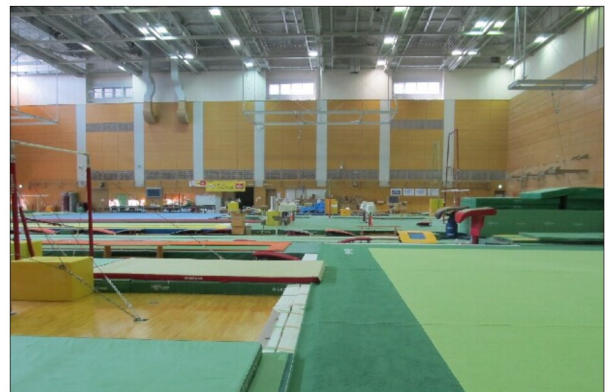
オリンピック・パラリンピックの開催が2020年に行われるのに先立ち、北区議会内でも有志による議員連盟が立ち上がりました。9月14日に議連でNTC(ナショナルトレーニングセンター)を訪問。トップアスリートたちの練習場を視察してきました。



卓球の練習場。後ろには国際大会で獲得したトロフィー等がずらりと並んでいます。



食堂はバイキング形式で、和洋中から選べます。もずくの酢の物がこの中では一番のお勧めです。



体操の練習場。マット・鉄棒などの用具は、次回の国際大会で使われるメーカーのものを使用し練習を行うそうです。